

# 大切な家族の命は守れます！

～あなたは大丈夫？「これだけはやっておきたい地震対策」～

## わが家が凶器に

阪神淡路大震災では6,000人以上の生命が失われましたが、その8割以上が、倒壊した家屋や転倒した家具による圧死や窒息死でした。しかも死亡した人の多くは、地震発生から15分以内に亡くなっています。非常食などの備蓄も重要なことですが、生き残っていなければ、それも使われることはありません。倒壊した家屋のがれきが道路をふさぎ、緊急活動やその後の復旧作業の大きな妨げになる場合もあります。

また、地震の二次災害でもっとも恐ろしいのが火災です。暖房器具はこまめに点検し、周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。

### 住宅の耐震化

住宅の倒壊を防ぎ大切な命を守るためには、耐震性を強化することが不可欠です。

専門家による無料耐震診断や、耐震補強工事の補助を行っています。

### 家具の転倒防止

室内に置いてある大きな家具は必ず固定器具などで固定し、家具の上に重いものは置かないようにしましょう。

また、寝室にはできるだけ大きな家具を置かないなど、家具の配置を考えることも大切です。

### ブロック塀の安全対策

自宅にブロック塀があれば、ひび割れや傾きがないか、土中に基礎部分があるか、鉄筋が入っているかなどをチェックしましょう。

地震発生時には、ブロック塀や石塀などからはすぐに離れてください。

## 自宅が無事であれば避難所に避難する必要はありません！！

### 定期的に家庭で防災について話し合みましょう！

災害時には、家族全員が協力し合うことが求められます。そのため、日ごろから家族で防災について話し合う機会をもちましょう。

いざというときに、どこに避難すべきかを確認し、家族が離ればなれになったときの連絡方法を決めておくことが重要です。

### 非常持出品・備蓄品を準備しましょう！

非常持出品は避難するときに持ち出す最小限の必需品です。重すぎると避難に支障が出るので、必要最小限のものをまとめ、すぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。

非常備蓄品は災害復旧までの数日間を自活するためのものです。最低でも3日間、できれば5日間は自活できるだけの量を用意しておきましょう。

## 家族構成に合わせた準備を！！

### 自主防災組織に参加しましょう！！

大災害が発生したとき、市や警察などの行政機関の対応には限界があります。そんなときに力を発揮するのが「自主防災組織」です。「自らの地域は皆で守る」という心がまえで、積極的に自主防災組織の活動に参加し、災害に強いまちをつくりましょう。

東日本大震災でも防災訓練に参加していた人が助かった事例が多く報告されています。

### 平常時の活動

- 地域内の防災環境の確認
- 防災訓練の実施
- 防災知識の普及
- 防災資機材の整備

### 災害時の活動

- 初期消火
- 避難誘導
- 救出・救助
- 情報の収集・伝達
- 避難所の管理・運営

### 防災訓練・研修を開催しませんか

市では、自主防災組織や各種団体などが行う防災訓練・研修に講師を派遣しています。危機管理課（電話983-2650）までお問合せください。

- 地震体験車（起震車）体験
- 災害図上訓練（DIG）
- 避難所運営ゲーム（HUG）
- スモークハウス体験
- AED講習会
- 講演（自主防災組織の活動・地震発生時の行動 など）

## 「三島市防災ラジオ」

三島市では、災害時等の情報伝達手段の一つとして、同報無線（声の広報）の放送を受信できる「防災ラジオ」を販売しています。

### 【防災ラジオの特長】

- ①AM・FM・同報無線が受信可能です。
- ②同報無線の自動受信、ラジオ放送からの自動切換えができます。
- ③電源は単三乾電池3本、家庭用AC電源（100V）どちらでも可能です。
- ④LEDライト付きです。

### 【購入に関する注意点】

- ①販売は市内在住者及び市内事業所限定で、1世帯1事業所1台限りとなります。
- ②以下のような場所では同報無線が受信しにくい場合があります。
  - ・総合防災センターから遠い市域南部・北部・坂地区
  - ・総合防災センターの方角が、山や建物でさえぎられている場所
  - ・コンクリート製の建物内部、気密性の高い住宅等

1台 1,000円



外形寸法

横幅200mm×奥行95mm×高さ87mm

## 「同報無線テレホンサービス」

同報無線（声の広報）で放送した内容を電話で確認できます。

### 電話番号

フリーダイヤル 0120-212184（通話料無料）

フリーダイヤルが利用できない場合 055-975-2121（通話料有料）

### 放送内容

- ・過去24時間以内の放送内容を確認できます。
  - ・放送は最新のものから流れます。
  - ・定時放送（正午・16時30分のチャイム及び子どもの見守り放送）は録音されません。
- 混雑時は通話中となることがありますので、再度お掛け直してください。

## 「三島市地域SNS」



地域SNSとは、パソコンや携帯電話を利用して、日常的にサイト内の日記や電子掲示板を利用したり、行政情報、地域情報などを入手したりすることができる地域向けの交流・情報提供サービスです。

### 【災害モード】

- ①画面が切り替わり、災害情報や避難情報を入手することができます。
- ②携帯電話のカメラで撮影した写真を添付し、市に被害の発生を通報することも可能です。

本SNSは、完全招待制となっており、既会員からの招待または事務局への申請が必要となります。詳しくは、下記URLをご覧ください。

<http://sns.city.mishima.shizuoka.jp/>

	<p>日時 2011年06月13日(月) 12:08</p> <p>タイトル 1Aの野球場で火災発生！</p> <p>内容 1Aの野球場で火災が発生しているようです。</p>
	<p>日時 2011年06月13日(月) 12:07</p> <p>タイトル 家庭倒壊！人が巻き込まれているようだ</p> <p>内容 本町で何軒かの家が倒壊している。人も巻き込まれているようだ。</p>

画面イメージ

地域SNSの詳細については  
情報政策室（電話 971-4332）

# 情報をお届けします！

## 「みしまるホットメール」配信中！

市民の皆さんに安全・安心・暮らしに関する情報をお知らせするメール（愛称：みしまるホットメール）を配信しています。防災や防犯、声の広報の放送内容に加え、子育てやイベント情報など、暮らしに役立つ情報を配信します。

※登録料は無料ですが、メールの送受信や利用登録、変更、解除の際の通信にかかる通信料は利用者の負担となります。

### 配信する主な情報

Jアラート情報	国民保護情報・気象警報・大津波警報・土砂災害情報・火山情報など 市民の安全・財産の保護のための情報
危機管理情報	市民の安全のために必要で、Jアラート情報に属さない、避難勧告や災害に関する情報、河川水位情報など
同報無線情報	火災・防犯などに関する広報を除く声の広報の放送内容
防犯情報	不審者情報、振り込め詐欺の手口や発生情報、街頭犯罪の発生情報、消費者被害情報など
イベント・お出かけ情報	市内のイベント、スポーツ、講座の案内、ガーデンシティ情報など
子育て情報	子どもの感染症・予防接種などに関わる情報、子育てに関わる行政サービスに関する情報
健康情報	スマートウェルネスみしまの取り組み、感染症や食中毒などの情報、特定健診・がん検診などの情報
選挙情報	選挙期日、投票所の変更、期日前投票情報や、開票速報など

## 登録方法

### ①空メールの送信

#### メールの送信方法 その1

メールの宛先に下記のメールアドレスを入力し、本文は何も入力せずメールを送信します。

メールアドレス [t-mishima@sg-m.jp](mailto:t-mishima@sg-m.jp)

#### メールの送信方法 その2

QRコードを携帯電話で読み取り、表示されたページ内の「メールを送信する」をクリックし、本文は何も入力せずメールを送信します。



▲QRコード

### ②仮登録メールの受信

空メール送信後、「仮登録完了のお知らせ」メールが送信されます。受信したメールを開き、本文中のURLをクリックし、利用者登録ページへ進みます。

仮登録完了のお知らせ

ご利用ありがとうございます。仮登録が完了致しました。下記URLにアクセスして、詳細情報をご登録下さい。

本登録はコチラからお願いします。  
<http://service.sugumail.com/mishima/m/u/n/943c32xxxxxab>

尚、本メールへのご返信はできませんので、ご了承ください。

### ③利用者登録

利用規約に同意のうえ、「メール配信に同意する」をクリックします。

#### ★利用者登録★

・メール配信サービスの申込みを行います。利用規約に同意の上、下記のメール配信に同意するリンクをクリックしてください。

■利用規約を確認する

メール配信に同意する

### ④ジャンル選択

配信を希望する情報にチェックを入れます。チェックが済んだら、最下段まで進み、「次の画面に進む」をクリックします。

#### ★ジャンル選択★

ジャンルを選択してください。分類を選択すると、下位のジャンルを全て選んだ事となります。※は入力必須項目になります。

■ジャンル※  
 Jアラート情報  
 危機管理情報  
 避難勧告等の情報

### ⑤利用者情報確認

配信を希望する情報を確認し、最下段の「入力内容を登録する」をクリックします。その後、本登録完了のメールを受信できれば登録完了です。

#### ★利用者情報確認★

入力内容を確認して、「入力内容を登録する」を押してください。

■ジャンル  
 Jアラート情報  
 危機管理情報  
 避難勧告等の情報  
 災害情報  
 河川水位情報  
 通行止め道路情報

# 知って得する！「三島市の地震対策補助制度」

## わが家の専門家診断事業（無料耐震診断）

無料で専門家を派遣し、昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の耐震診断などを行います。電話・窓口・電子申請での受付が可能です。

## 既存建築物耐震診断事業

すべての建築物の「耐震精密診断」または木造住宅の「耐震補強計画作成」を建築士などの専門家に依頼する場合に要する経費の一部を補助します。

○対象建物 昭和56年5月31日以前に建築された建築物

○対象経費 耐震診断などに要する経費と市の基準額とを比較して少ない額

○補助率 2/3以内

（木造住宅においては補助対象経費内）

○補助限度額 200万円/棟

## 木造住宅耐震補強助成事業

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の耐震補強工事に要する経費の一部を補助します。

○対象建物 耐震診断の耐震評点が1.0未満の建物を補強計画に基づき1.0以上に補強する建物（ただし耐震評点が0.3以上向上する耐震補強工事に限る）

○対象経費 耐震補強工事に係る経費

○補助限度額 40万円（高齢者のみの世帯および障がい者などの同居世帯は60万円）

## がけ地近接等危険住宅移転事業

がけ地の崩壊など（土石流・地すべりを含む）により生命に危険をおよぼすおそれのある区域で、危険住宅の移転事業を行う場合、経費の一部を補助します。

○対象経費 危険住宅の除却などに要する経費

○補助限度額 1戸当たり78万円

## 家具転倒防止事業

大規模な地震で家具の転倒による被害を防止・軽減するため、高齢者や障がい者のみの世帯などで、たんすなどの家具を固定する器具の取り付けが自力では困難な世帯を対象に家具転倒防止事業を実施しています。

○注意事項

- ・固定器具の代金は申請者の負担
- ・5品までの取付費用を市が負担し、それを超える部分については申請者負担

問合せ：危機管理課（電話 983-2650）

## ブロック塀等耐震改修促進事業

地震で倒壊の危険性があるブロック塀などを撤去または改善する費用の一部を補助します。

○対象経費

【撤去】撤去費用と撤去するブロック塀の延長に1m当たり9,000円をかけた額を比較して少ない額

【改善（一部地域のみ）】改善費用と改善するブロック塀の延長に1m当たり38,400円をかけた額を比較して少ない額

○補助率 1/2以内

○補助限度額（1敷地）

撤去…18万円 改善…25万円

## 耐震シェルター整備事業

地震発生時における住宅の倒壊などによる人的被害の軽減を図るため、居住する木造住宅に耐震シェルターを設置する場合、その費用の一部を助成します。

○補助対象者 高齢者などが居住する住宅の1階部分に新たに耐震シェルターを設置する人

○対象建物 お問合せください

○対象経費 耐震シェルターの設置に要する経費

○補助額 対象経費の1/2以内で上限125,000円

○募集件数 2件（応募多数の場合は抽選）

## しずおか住宅ローン優遇制度

昭和56年5月31日以前に建築されたの木造住宅で、耐震診断の結果1.0未満の住宅を建て替える場合など、低利融資制度を利用できます。詳細は、取り扱い金融機関またはしずおか住宅ローン優遇制度のホームページへ。

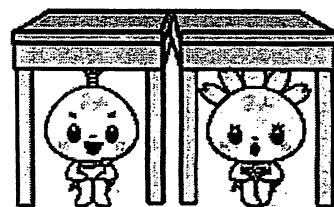
耐震補強等の補助制度の詳細については  
建築指導課（電話 983-2644）

## 生け垣づくり用苗木の配布

生け垣は、地震の際にブロック塀のような倒壊の危険もなく、街に彩りと潤いを与え、空気をきれいにするほか、騒音も和らげます。安全かつ良好な生活環境の確保を図り緑豊かな街づくりを推進するため、生け垣づくり用の苗木を無償で配布しています。

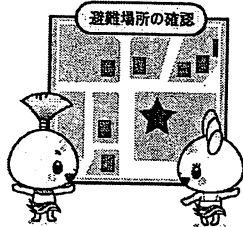
○配布時期 6月・10月・3月

問合せ：水と緑の課（電話 983-2642）



2012.7作成

三島市危機管理課（電話 983-2650）



# わたしの防災カード

地震などの災害はいつ起こるか分かりません。いざというときに支援が受けやすいように、救助に来た近所の方や消防署員などが見つけやすい冷蔵庫などに掲示しておきましょう。

## ●地震発生時の行動のポイント

1. グラツときたら身の安全
2. 窓や戸を開け、出口を確保
3. ガラスの破片に気をつけよう
4. 落ち着いて火の元確認、初期消火
5. あわてて外に飛び出さない
6. 門やブロック塀には近づかない
7. 正しい情報、確かな行動
8. 確かめ合おう、我が家の安全、隣の安否
9. 協力し合って救出・救護
10. 避難の前に安全確認、電気・ガス

指定避難場所	
--------	--

### 自分の情報メモ

フリガナ		性別	男 ・ 女
氏名		生年月日	明 ・ 大 ・ 昭 ・ 平 年 月 日
携帯電話	( )	血液型	型 (RH +・-) )
かかりつけの医療機関 ①		電話番号	( )
かかりつけの医療機関 ②		電話番号	( )
持病	無 ・ 有 ( )		
服用中の薬			
アレルギー	無 ・ 有 ( )		
職場・学校		電話番号	

### 【緊急連絡先】家族・知人の情報メモ

氏名	関係	住所	連絡先
			( )
			( )
			( )

指定避難場所や家族で決めた避難先以外に避難する場合は記入しましょう。

避難先名			
住所		連絡先	( )